

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 186

事務事業名	老人クラブ活動促進事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-100
担当者名	塚原 麻衣	内線	89-202

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020203	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者を地域で支える体制の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	1	社会福祉費	
目	2	老人福祉費	
事業コード	090000	老人クラブ活動促進事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	老人クラブ団体に加入している高齢者及び大村市老人クラブ連合会		
意図 対象をどのような状態にしたいか	老人クラブに所属する高齢者の教養の向上及び健康の増進を目的としたレクリエーション活動並びに地域社会との交流活動の促進を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	敬老会など、老人クラブが実施するレクリエーションや地域社会との交流などの活動費の一部に対して補助金を交付する。 1老人クラブあたり 41,880円 一般事業分 174,000円 会員割分 64円 特別事業分 174,000円		
事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	大村市老人クラブ活動費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 団体数	計画値	82	80	82	82	
		実績値	80	81	82		
		達成度	%	97.6%	101.3%	100.0%	
活動指標	② 市老連への加入クラブ数	計画値	73	73	64	67	
		実績値	73	64	67		
		達成度	%	100.0%	87.7%	104.7%	
成果指標	① 老人クラブへの加入者数	計画値	4,843	4,640	4,489	4,489	
		実績値	4,640	4,563	4,489		
		達成度	%	95.8%	98.3%	100.0%	
	② 市老連への加入者数	計画値	4,328	4,198	3,693	3,693	
		実績値	4,198	3,644	3,693		
		達成度	%	97.0%	86.8%	100.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	3,995	4,027	4,046	4,067	4,341	4,341	4,341	0
国庫支出金								
県支出金	2,662	2,698	2,678	2,691	2,714	2,714	2,714	
地方債								
その他								
一般財源	1,333	1,329	1,368	1,376	1,627	1,627	1,627	
② 人件費(千円)	238	1,184	1,177	1,318	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.03	0.13	0.13	0.14	老人クラブに経費の助成を行い、老人クラブ活動の促進を図る。	老人クラブに経費の助成を行い、老人クラブ活動の促進を図る。	老人クラブに経費の助成を行い、老人クラブ活動の促進を図る。	
時間外勤務(時間)		101	130	150				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,233	5,211	5,223	5,385				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	敬老会など、老人クラブが実施するレクリエーションや地域社会との交流など活動費の一部に対して補助金を交付した。
事業が抱える問題・課題等	地域の活性化のため老人クラブ活動促進は重要であるが、加入者数は年々減少しており、地域老人クラブ活動の魅力を発信することで組織率を向上を図る必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業の活動を通して、社会参加のみならず健康の維持が図られるとともに、高齢者の生きがいづくりへとつながることから必要な事業である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	活動費の一部を補助することは、その活動を活発化させることに結びつくことから必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	老人クラブ加入者及び市老人クラブ連合会加入者数とも減少しているものの、老人クラブ活動は活発に実施されていることから、成果は高いといえる。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	老人クラブを活性化させることは、高齢者の生きがいづくりにもつながることから効果は大きい。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	老人クラブの活動費の一部となっているため見直しは難しい。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	老人クラブの活動費の一部となっているため見直しは難しい。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市老連に加入している老人クラブ数が減少傾向であるため、市老連の老人クラブ組織拡大計画の策定を行うなど市老連と連携しながら、会員増加を図っていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。